

▽前野由和議員

今後、やむなく撤去や統廃合を進めなければいけない施設がでてくる。無くなる地域からすると将来の一筋の夢を断ち切られたようで納得できない感情になる。できないことは率直にできないと告げて相談すべきである。中長期的視野に立って、町の将来を描き施設の配置等につい

Q A 3

問 連携中枢都市圏は隠れた合併だとの批判的見方もあるのでは

答 地域存続ため必要である

▽前野由和議員

高知市と個別の協約を結び連携した施策を推進していくことが効率的で広域を維持していくために必要との施策としているが経緯を聞く。

▽岩崎憲郎町長

県下全域が、高知市を中心に連携することによって、相互

て広く検討する委員会を立ち上げ公開の議論に付すべきと思うが所見を聞く。

▽岩崎憲郎町長

3月の定例会で町政諮問会議条例の改正を提案し、住民の皆さんの意見をより多く幅広く聞き、スピーディーに物事を進めるため、多面的に議論していただくことを検討している。

▽前野由和議員

ステルス(隠れた)合併と揶揄されている向きもある。地域医療の拠点を移転後の高知赤十字病院に置き災害時医療体制を確立するとしてい

る。商業・経済圏に組み込まれることにより高知市の一周辺との位置関係に追いやられることにならないか。



建設中の新高知赤十字病院

Q A 4

問 町道の管理体制を問う

答 地域の協力のもと、取り組み



佐々木文三 議員

住民の生活にはなくてはならない町道の現状は、舗装の亀裂、損傷などが多く見られる地域があり、地域によって格差があるのではと感じられるが、どのような

管理をしているのか、また、パトロールの委託等をしているとのことであるが、その内容は。

▽岩崎憲郎町長

地域の皆さん方の協力のもと、みんなの財産である道路を守る視点での取り組みをしている。舗装の劣化によって窪みになっているところ

などは、原材料を支給して地域の方に修繕していただく対応などもお願いしているが、全てに間に合っていない現実もある。気が付いたことは報告をいただければ対応する。道路パトロールについては、大豊ゆとりファームに日常の業務を通じてのパトロールをお願いしている。それ以外



補修が必要な町道

Q A 5

問 保育所の取り組みを問う

答 見直しは必要だと考える



小笠原妙子 議員

今回、大田口保育所の統合は見送りになったが、今後の保育所運営について、どのようにすべきだ

と考えているのか。

▽岩崎憲郎町長

町内に保育所は3カ所あり、その施設間の距離とそれぞれの通園されているご家庭の状況、そして来年予想される状況などを鑑みると、将

高齢化の中、保育・小中一貫教育を目指している事も十分理解もできるが、この広い本町全体を考えた時、町営保育所1カ所では園児もその保護者の方の負担も大きく、地域もますます衰退し、集落の減少、消滅の危機にもなるのではないかと考える。大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略5カ年計

大田口保育所



画の中にも積極人口100%を目指し減少対策に挑戦とある。危機感を持って1人でも多くの若者が定住してもらえようように子育てのしやすい環境づくりをするべきではないか。

▽岩崎憲郎町長

本町の将来にわたっての公共サービス、公共施設のマナー

Q A 6

問 嶺北博開催に向けての取り組みを問う

答 将来に残す博覧会を目指している

▽小笠原妙子議員

アウトドアをテーマとした生活文化・食・観光・交流による嶺北地域活性化の起爆剤との位置付けで、(仮称)嶺北博の開催予定が2019年の夏頃だと新聞報道であったが、本町では特に観光資源が豊富であると思う。日本一の大杉、ひばりの歌碑、ゆとりす

ジメントを行っている視点で考えた場合、町内2園体制を実現すべく努力すべき時期に来ていると思っている。

▽小笠原妙子議員

町内2園体制については賛同するが、保護者等からの、さまざまな意見もしっかり受け止めて、改善に向けて努力を。

とパーク、旧立川番

所書院、国宝豊樂寺薬師堂、定福寺、民俗資料館等、山荘梶ヶ森も再開するなど、この観光資源をフルに活かし、嶺北4カ町村の嶺北博に向けて職員の見直しを結集し、スピード感を持って計画を進めてはどうか、また、各関係機関への協力の要請も早急に行うべきで

はないか。

▽岩崎憲郎町長

嶺北4カ町村で、さまざまな意見が出ているが、アウトドアにテーマを絞って夏休みの1、2か月間開催し、毎年嶺北のアウトドアの月間だと言える将来に残す博覧会にすべきだと思っている。内容については、それぞれの町村が競い合うようなイベントを展開することを計画し、

昭和63年に開催の88れいほく高速博



カ発信空間です。

それを一つの博覧会としてPRする取り組みを進めてはどうかと考えている。いずれにしても実施する方向で、首長間では確認をしている。

▽小笠原妙子議員

経済的にも大変疲弊している本町だが、この機会に観光面で売り出し、1人でも多くの方に足を運んでいただくことが重要であると考えている。この1年間の動きを見てきた中で、いろいろな計画は出来上がっているが、少しスピード感に欠けているように感じている。来年は庁舎の仮移転計画もあり、大変忙しい時期と思うがスピード感を持ってこの嶺北博を成功に導く努力を。

▽岩崎憲郎町長

嶺北4カ町村の首長会等を重ね、スピード感を持って取り組む。